



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日
東

上場会社名 株式会社T&K TOKA 上場取引所
 コード番号 4636 URL <http://www.tk-toka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 北條 実 (TEL) 03-3963-0511
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	34,375	△4.3	1,884	△16.6	2,466	△17.6	1,745	△25.0
27年3月期第3四半期	35,920	△10.4	2,259	△32.0	2,994	△18.3	2,328	8.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,121百万円(△62.3%) 27年3月期第3四半期 2,974百万円(△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	69.93	69.75
27年3月期第3四半期	93.33	93.20

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	59,755	42,132	70.1
27年3月期	58,238	41,422	70.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 41,898百万円 27年3月期 41,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期及び平成28年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は20円、年間合計は35円となります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	49,140	1.0	2,460	△15.2	3,360	△14.7	2,320	△24.2
								92.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	25,023,140株	27年3月期	25,012,340株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	58,542株	27年3月期	58,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	24,961,358株	27年3月期3Q	24,953,896株

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果により雇用情勢や企業業績の改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、アジア地域については、中国では景気は緩やかに減速しているものの各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれます。その他アジア地域についての景気は総じて持ち直しの動きが見られます。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、個人消費の底堅い動きから流通する印刷物は伸び悩んでおります。また、情報の電子化及び少子化の影響による出版・商業印刷が縮小傾向にあり、引き続き厳しい状況が続いております。中国をはじめとしたアジア地域でも、景気は減速傾向にあり印刷需要が伸び悩んでおります。一方、北米は好景気からパッケージ等の印刷物が増えております。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第3四半期の当連結累計期間の売上高は、UVインキは堅調に推移したものの、平版インキ、特殊UVインキの販売が減少したことにより、売上高は343億75百万円（前年同期比4.3%減）となりました。利益面におきましては営業利益は18億84百万円（前年同期比16.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益4億73百万円、法人税等4億45百万円を計上したことにより、17億45百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

① 印刷インキ

売上高は343億69百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益（営業利益）は18億70百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

② その他

売上高は38百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて15億16百万円増加し、597億55百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べてたな卸資産が10億99百万円、有形固定資産が13億85百万円増加したものの、現金及び預金が16億円減少したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて8億6百万円増加し、176億23百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が4億72百万円、長期借入金が6億81百万円増加したものの、未払法人税等が4億6百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて7億9百万円増加し、421億32百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が13億8百万円増加したものの、為替換算調整勘定が6億44百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、これに伴う四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,748	5,148
受取手形及び売掛金	16,260	16,308
有価証券	100	-
商品及び製品	3,003	3,707
仕掛品	371	299
原材料及び貯蔵品	1,874	2,340
その他	549	913
貸倒引当金	△223	△131
流動資産合計	28,682	28,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,642	20,270
機械装置及び運搬具	13,926	15,655
土地	7,266	7,188
その他	6,112	4,102
減価償却累計額	△24,735	△25,617
有形固定資産合計	20,212	21,598
無形固定資産	272	260
投資その他の資産		
投資有価証券	7,805	7,908
退職給付に係る資産	814	899
その他	507	542
貸倒引当金	△55	△41
投資その他の資産合計	9,070	9,308
固定資産合計	29,556	31,167
資産合計	58,238	59,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,585	8,057
電子記録債務	2,407	2,589
短期借入金	1,208	1,284
1年内返済予定の長期借入金	186	329
1年内償還予定の社債	7	7
未払法人税等	455	48
賞与引当金	627	314
その他	1,740	1,762
流動負債合計	14,217	14,393
固定負債		
社債	22	18
長期借入金	1,021	1,702
退職給付に係る負債	449	496
その他の引当金	25	29
資産除去債務	105	106
その他	975	876
固定負債合計	2,598	3,229
負債合計	16,816	17,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,060	2,064
資本剰余金	2,059	2,064
利益剰余金	35,994	37,302
自己株式	△50	△50
株主資本合計	40,063	41,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	806
為替換算調整勘定	385	△259
退職給付に係る調整累計額	△72	△31
その他の包括利益累計額合計	1,095	516
新株予約権	49	64
非支配株主持分	214	169
純資産合計	41,422	42,132
負債純資産合計	58,238	59,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	35,920	34,375
売上原価	28,682	27,275
売上総利益	7,238	7,099
販売費及び一般管理費	4,978	5,215
営業利益	2,259	1,884
営業外収益		
受取利息	48	39
受取配当金	62	65
持分法による投資利益	397	473
負ののれん償却額	43	-
為替差益	125	-
その他	105	107
営業外収益合計	783	685
営業外費用		
支払利息	20	22
為替差損	-	61
金利スワップ評価損	7	3
その他	19	15
営業外費用合計	47	103
経常利益	2,994	2,466
特別利益		
固定資産売却益	24	3
固定資産受贈益	-	4
為替差益	63	-
関係会社出資金譲渡益	137	-
特別利益合計	225	8
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	43	85
為替差損	-	208
その他	-	0
特別損失合計	44	294
税金等調整前四半期純利益	3,174	2,180
法人税等	790	445
四半期純利益	2,384	1,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,328	1,745

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,384	1,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	24
為替換算調整勘定	216	△551
退職給付に係る調整額	58	41
持分法適用会社に対する持分相当額	153	△127
その他の包括利益合計	590	△612
四半期包括利益	2,974	1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,914	1,166
非支配株主に係る四半期包括利益	60	△44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	35,914	5	35,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	35	35
計	35,914	41	35,955
セグメント利益	2,243	9	2,253

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,243
「その他」の区分の利益	9
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	2,259

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	34,369	5	34,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	32	32
計	34,369	38	34,407
セグメント利益	1,870	7	1,878

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,870
「その他」の区分の利益	7
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,884

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。